

令和6年度 指定管理業務 実績評価シート

作成年月日

R7.6.9

部課名 市民生活部市民協働課

施設名	弘前市宮川交流センター
施設の設置目的	世代間の交流事業や高齢者に対する生きがいづくりの事業を行い、その保健福祉の向上を図るため。
所在地	弘前市大字堅田二丁目2番地6
指定管理者名	和徳学区町会連合会
指定期間	令和6年4月1日から令和11年3月31日まで
1 事業計画の実施状況 施設の設置目的を理解し、協定書、管理業務基準書及び事業計画書に基づいて、概ね適正な管理運営が実施されている。	
2 自主事業の実施状況 カラオケ教室無料体験会などほか7件の自主事業を実施した。	
3 市民サービス向上のための取組状況 日常業務の中で十分な市民サービスを提供できるよう、卓球台の整備等、施設設備の軽微な不具合の補修など、指定管理料を工面して、施設をより利用しやすいよう工夫するなど、環境整備に努めている。	
4 市民ニーズの把握の実施状況 アンケート調査により利用者からの意見、希望を把握し、施設管理、運営に反映できないか検討している。	
5 施設の利用状況（利用者数、稼働率など） 令和6年度の利用許可件数は3,037件、利用者数は27,527人となっており、利用許可件数、利用者数ともに前年度を上回る数値となっている。 （参考：令和5年度 利用許可件数2,895件、利用者数26,409人）	
6 指定管理業務の収支状況 施設の管理に支障がないよう経費削減に努めながら、計画的な予算執行に努めている。	

7 実地調査の結果

施設内外の維持管理、各種書類の作成・保管の整理、経理の状況等適正に実施されていた。

8 成果指標の達成度

利用件数: 目標 2,997件 実績 3,037件 達成度101.3%
 利用者数: 目標31,304人 実績27,527人 達成度 87.9%
 満足度: 目標 90% 実績 66% 達成度 73.3%

9 評価

(1) 指定管理者の自己評価

評価区分	評価	評 価 の 説 明	今後の課題と対応
施設の運営	B	いずれの項目についても、適正な運営を行っている。	この動きを継続していく。
施設の管理	B	緑地帯の草刈りを行い、季節の草花を植栽し、館内にも鉢植えを置くなどして、利用者を和ませる取り組みをしている。	引き続き実行していく。
経理の状況	B	適正な帳簿記帳を行い、また、経費の削減に留意している。	利用者の要望に応えるようにする。
団体の財務状況	B	特になし。	特になし。

(2) 市の指定管理者に対する評価

評価区分	評価	評 価 の 説 明	今後の課題と対応
施設の運営	A	アンケート実施により、利用者の意見、要望の把握に努めた。また、自主事業を活発に実施し、施設の周知、利用者増加を図った。	今後も基本的なサービス向上を図るためのアンケートの実施、利用者増加を図るための魅力的な自主事業の実施に期待する。
施設の管理	A	日常業務の中で十分な市民サービスを提供できるよう、卓球台等の整備をするなど、利用者の環境整備に努めている。また、個人情報や文書等の管理も適切に行っている。	今後も利用者の安全のため、設備の保守、適正な管理に努めていただく。
経理の状況	B	経費削減に努めながら、計画的な予算執行に努めている。	今後も、適正な経理に努めていただく。
団体の財務状況	B	安定した経理的基盤を有している。	今後も、安定した財務状況を維持していただく。

【評価の視点】

評価区分	評 価 の 視 点
施設の運営	法令等の遵守、使用許可、市の指定事業、付随業務、自主事業、公平性、職員配置・研修、開館時間・休館日、職員の接遇、利用者ニーズの把握・反映、事業計画の実施状況、業務報告など
施設の管理	利用者の安全対策、施設・設備の維持管理、個人情報の管理、文書等の管理、備品等の管理、緊急時対策、災害対策など
経理の状況	帳票等の整備、経理の区分、収支状況、経費の削減、帳簿等の保管状況など
団体の財務状況	安定的な施設の管理が可能な経理的基盤を有しているか

【評価の基準】

A	協定書・基準書等の内容を超える管理運営が行われたと判断できるもの (適正な管理運営に加えて、更なる取組みや成果があると評価できるもの)
B	協定書・基準書等の内容を概ね適正に実施していると判断できるもの (軽微な改善点はあったが、速やかに改善されているもの)
C	協定書等の内容に対して改善点はあったが、適切な改善策が講じられているもの
D	協定書等の内容に対して不履行があるものや、改善がなされていないものがあるもの

※「団体の財務状況」の評価基準

B	問題がない
C	今後に注意を要する
D	早急な改善を要する